



# ひかりのこっうしん No.7

ひかりの子幼稚園・保育園

2020年10月

## 「運動会を終えて」

爽やかな秋空のに恵まれ、保護者のみなさまのご協力のもと、運動会が無事行われましたこと、心より感謝申し上げます。

初めて1時間の入れ替え制運動会をするにあたり、時間配分、列整理、場所取りの問題など様々の想定をしていましたが、肩透かしをくらったようにスムーズにいき、私たちのうれしい誤算でした。これもひとえに保護者のみなさまが時間を守って下さるなどのご協力のおかげだと感謝しております。ありがとうございました！！

1時間の厳選されたプログラムだからこそ、子ども達に何を経験してもらい、何を育てていきたいかを職員で何度も話し合いを重ねました。

1クラス単位ですることになり、倉治グランドでの全体練習を減らし、幼稚園内で練習した事も大きな変化でした。そのため、練習を園内で見える機会が増えました。

こひつじ組のバラバルーンが目の前で大きくふくらみ、繰り広げられる技の数々。技を成功させるために、「みーぎ、ひだり、うえうえうえうえ、したしたしたした！」と心を合わせた息の合った掛け声。メリーゴーランドをする時、ピンと伸ばされた指先の美しさ。転けた友達をかばいながらも、演技を続けるたくましさ。こひつじ組はみんなに見つめられて照れながらもかっこいい姿を見せてくれました。小さい学年は目をまん丸にして憧れを持って見つめる姿がありました。当日本番の演技を見て、益々「僕らもやってみたい」その思いは強くなりました。

運動会明け、こうさぎのあるクラスではままごとコーナにあった大きな風呂敷を使って早速バラバルーンごっこがはじまりました。

風呂敷ではなく本物を持たせてあげたいと思い、直径2メートルのバラバルーンを早速買いますと、お部屋で大盛り！！

「先生、あの音楽かけて♪」のリクエストに応じて、年長組から嵐の「カイト」のCDを借りてきました。見よう見まねではありますが、覚えた事を一生懸命再現します。先生役をする子も現れました。いつ覚えたのだろうと思うくらい「先生、中入って！」とメリーゴーランド、ブリッジもなんとかサマになっています。次は体育遊びで本物のバラバルーンを使い「技」を教えてもらう予定です。

今回の縦割りの運動会を実施する中で、年上の子が年下の子の面倒を見たり教えたり、年下の子が年上の子にあこがれたりまねしたりする体験と成長がありました。

核家族が多くなり、地域でのかかわりが少なくなってしまった現代、子ども同士のつながりを深くしていくことが幼稚園の大きな役割だと思っています。

社会に出たとき、同じ価値観を持った人たちだけでなく、様々な人同士が繋がりあって生きていける社会や未来を、子どもたちが作ってほしいと心から願っています。

園長 松本 直子